

議会運営委員会調査報告書

1 調査事件

議会報告会のまとめについて

2 調査の経過

前記事件を調査するため、平成 28 年 6 月 14 日及び 21 日に当委員会を開いた。

(1) 出席した委員

能見勇八郎 鈴木 逸朗 吉田 俊平 湊本 稔
波多野 優 村田 公夫 山本 正之（議長）木村 圭介（副議長）

(2) 欠席した委員 なし

3 議会報告会の開催概要

議会基本条例及び議会報告会の開催及び運営に関する要綱に基づき、5 月 11 日、13 日、16 日、18 日、20 日の 5 日間、5 会場で議会報告会が開催された。

議会からは、各会場に議長を含めて 9 名の議員が、分担して参加し、パワーポイントも活用して、「国民健康保険税について」、「健康増進と介護予防について」及び「ごみ収集の一元化について」の 3 つのテーマに基づいて報告を行った。

別紙 1 のとおり市民など延べ 243 名が参加され、140 名からのアンケートが寄せられた。

4 市民の発言について

各会場での市民の質問、意見等の発言は、延べ 37 件であり、別紙 2 のとおりである。

市民の発言は、議会活動に関するものは議会運営委員会に諮り、市政要望に対するものは市長に報告するとともに、請願、陳情の取扱いに準じて所管の常任委員会に回付することとした。またその取組内容については、議会広報や今後の議会報告会などで、市民への広報に努めることとする。

5 市民からのアンケートについて

参加した市民の 6 割弱の 140 名から寄せられたアンケートの集計結果は別紙 1 のとおりである。

アンケートに記入された数多くの質問や意見、要望などについても、市民の発言に準じて取り扱うこととするが、記入者が必ずしも公表されることを想定していないこと、記載内容から特定の個人が推定できるものもあるため、委員会としては議員のみへの配布とし、対外的には公表しないこととした。

6 委員会のまとめ

- ・ 今回のテーマは市民生活に直接関係する項目について、常任委員会毎に設定した。そして、例年どおり委員会ごとに、それぞれの持ち時間を定めて報告を行い、市民の発言時間を多くとるようにした。会場による差はあったものの市民との意見交換も十分に行うことができた。その結果、アンケートでも、報告会を「評価」

するとの回答が、引き続き6割弱となっている。

- ・ 今回も5会場で開催したが、昨年に比べて参加者数はやや増加した。しかし、会場での意見やアンケートでは、参加者の増加を図るべきとの意見が多く寄せられた。今後に向け、区長会や地域自治協議会への協力依頼、開催周知の方法などについて再検討すべきである。市民あつての議会という議会基本条例の理念に立ち返り、議会報告会を運営することが求められる。
- ・ 議員の報告は、パワーポイントによって行っており、アンケートでは、説明内容について「わかりやすい」との回答が、前年度に比べ15%増加し、60%強となっているが、一昨年やその前の年に比べると低位につけている。そのあたりがアンケート回答中の「棒読み」、「専門用語が多い」、「詳細な説明が欲しい」などの記述に表れていると思われる。

また議会での審議内容と経過を明らかにするという点は定着してきているが、今回は「健康問題」や「ごみ問題」を取り上げたこともあり、公立豊岡病院組合や南但広域行政事務組合に関する質問が多く出された。今後、広域行政に関する事項についても適切に対処することが求められる。

以上、朝来市議会会議規則第103条の規定により報告します。

平成28年6月24日

議長 山本正之 様

議会運営委員会
委員長 能見 勇八郎